

第1回益子町ランドスケープ計画推進委員会 会議録

1、日時 令和3年10月7日(木) 16:00~17:00

2、会場 益子町役場 大会議室

3、出席者

大塚 朋之 町長	吉川 佳男 アドバイザー	【事務局】	
八色 宏昌 委員	萩原 芳雄 アドバイザー	産業建設部長	池田 浩之
横山 茂夫 委員	津野 仁 アドバイザー	建設課長	鮎沢 義則
大岡 周久 委員		建設課	矢島 剛
加藤 義勝 委員		建設課	渡邊 愛里
鈴木 信義 委員		【受注者】	
高橋 保 委員		小埜 芳秀	
中山 達美 委員			
小玉 貴浩 委員			
藤原 愛 委員			

4、会議事項

- (1) 益子町ランドスケープ計画について
- (2) 今後の委員会スケジュールについて
- (3) その他

5、会議概要

1 開会

2 委嘱状交付

3 町長あいさつ

皆様こんにちは。本日は、お集りいただきありがとうございます。

まず、益子町ランドスケープ計画の冊子には、益子の風景ということで、道の駅ましこについての記載もありますので、この機会にお話させていただきます。

道の駅の芝生広場では、多くの方々がごさを敷いて、のんびりと田んぼと山の風景を見ているという光景が毎日のように見受けられます。我々にとっては、当たり前にある田んぼや山の風景が、都会の方々にとっては、すばらしい光景と感じてもらえているのだと思います。

現在の道の駅には芝生がありますが、当初は、砂利を敷き、茂垣やフェンス等を設置し安全面を考慮した計画でした。しかし、田んぼや景色との一体感を楽しんでもらえる方が良いという意見もあり、途中で設計計画を変更し、芝生、田んぼから緑が繋がる風景をつくることができました。

実際に利用しているお客様からは、益子の良い所は、益子町中どこにいても、草刈り等の整備がされているところであるという話を聞きます。これは、栃木県内でも、1、2を争えるくらい環境保全会の組織率が高く、そういった組織があつて、それぞれの景観が守られていることになります。また、小宅古墳群等も地元の方々が整備してくださることで人気を集めています。

私がこの計画の中で、まず重要だと思うことは、「整えること」だと思います。これが風景のベースになっていくと思います。単純なことではありますが、整えることがまずできないと、風景の話につながっていかないと思います。

今回の計画は、示唆に富んでできた計画だと思います。小埜氏も計画の説明会時に話しておりましたが、この計画内にある絵は、これをそのまま実行していくわけではありません。あくまで、この計画を作成する前に地元の方々といろんな話をし、解釈した上で、まずたたき台として作成したものです。

実は、道の駅ましこ建設の際に、設計者にひとつだけ、お願いしたことがありました。それは、何も違和感がないように、その土地から生えてきたような建物にしてもらいたいということです。

この計画についても、それぞれの土地から生えてきたような、風景に馴染むようなものにするには、地元の方々の歴史や風土等の知識が必要になっていきます。その土地ならではの風景をつくっていくように、今日お集りいただいた皆様が中心となり、計

画を進めていければと思います。

最後に、益子町の最上位計画に第3期ましこ未来計画があります。この最上位計画の中でも、このランドスケープ計画については、優先政策に位置付けをしております。まず、自分たちで自慢できる地域を作り、是非行ってみたいと思っていただけるような益子町を目指し、ゆくゆくは、ここに住んでみたいという仲間を作っていき、住みたい町にすることを柱としてランドスケープ計画を位置付けたいと考えております。

皆様には、是非、このランドスケープ計画を通して、それぞれの地域の未来のためにどうかお力添えをいただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

4 委員紹介（事務局紹介）

5 委員長及び副委員長選出

委員長に加藤委員、副委員長に鈴木委員が選任された。

6 会議事項

（1）益子町ランドスケープ計画について

【小埜】

これまで、ランドスケープ計画については、経過報告させていただいておりましたが、まず、この計画をどのように進めていくのか、概要を発表させていただき、皆様に意見をいただきたいと思います。

報告書としてまとめたランドスケープ計画の冊子には、各地区に絵が記載されています。これは、ある程度の未来予想図を表現したものです。これがすぐにはできるというわけではありません。あえて、7地区でバリエーションが異なるように計画を作成しており、これは、他の地区でも対応可能ではないか、この地区では何ができるのか、等の可能性や問題提起について幅広く取り上げたものです。

今後、どのように計画進めていくべきか、修正していくべきかについて、専門分野の方々、地域の方々と幅広く意見を交わしながら進めていけたらと考えています。

ランドスケープ冊子についての説明

計画の大まかな軸

- ・グリーンベルトを整備（緑地の保全）
- ・ルーツリンク計画（歴史の保護と活用）
- ・スローロード計画（歩きと自転車にやさしい道づくり）

これらの軸を基に皆様と少しずつ整備していきたいと考えております。

また、冊子には、各地区に良いところ、価値を共有できる部分をプロットしてある図を

記載しています。共通認識として、この部分は、景観の重要な地区であり、失われたいように整備していくことに役立てていただきたいと思います。(太陽光設置のルール等)

今年度目標

①全体的なエリアの修正

各地区の方々や、専門分野の方々と意見交換をして地図の修正案を作成していきたいと思います。

②整備計画の進め方についての意見交換

7地区で14の計画(仮)を策定していますが、これを同時に実行するわけではありません。計画を実行するためには、まず、何から整えたらいいのか、話し合っていく必要があると思います。益子の里山の風景、田んぼ、畑、森林状況の中で益子の資源を生かす方法を検討する意見交換ができたらと思います。

例、田野地区

本沼では、遺跡調査、発掘調査や田んぼの整備が行われています。

田んぼの整備にしたがって道ができていくのであれば、遺跡のところまで歩いて行ける道を作れたら全体的にまとまり良いと考えます。

遺跡についても、いろんな方に見て分かっていただけるような状態に整備できたら良いのではないかと考えます。

それを実行するためには、専門的な歴史的観点、農業の観点からみてどのように進めたら良いのか、意見交換し、多くの方に協力いただいて、まとまっていければと思います。

例、大羽地区

雨卷山の駐車場整備については、植生と環境、景観上等を雨卷山の麓にあったものになれば良いのではないかと考えます。

駐車場計画と周りの環境をリンクさせながら、同時に整備していければ良いと考えます。

例、益子地区

北郷谷の粘土採掘場については、記載の絵のようなものをいきなり整備するというわけではありません。風景を作るのには時間がかかります。

遠い未来に、もしかしたら益子焼に関係する山の風景を活用できる場となったら良いのではないかと考えます。

畑の風景、益子焼の風景がつながっていくことで、ゆっくりと歩きながらこの風景を楽しむことができ、同時に環境も整えていけるような方向性について記載してあります。

このように、すぐ取り組めそうなもの、時間がかかりそうなもの等バリエーションを与えて絵にしたものをこの冊子にまとめました。

今後の委員会の中では、この計画を基に議論を深めてもらい、実際に今できること、この計画を進めるために必要なこと、この計画に記載されていない重要なこと等を整理し、進めていけたらと考えています。

【事務局】

今後、7 地区で意見交換会を実施したいと考えています。その実施方法についても、ご意見、質問等あったらお願いします。

【委員】

意見 質問等なし

(2) 今後の委員会スケジュールについて

【事務局】

①各地区のワークショップ

令和4年度までに各地区の意見交換会を実施したいと考えています。皆様には、各地区の方が集まりやすい時期や、このイベントの時に説明してもらった方が良い等あれば、事務局までお願いします。その日程に合わせて事務局の方で対応したいと考えています。

②推進委員会

予定としては、12月に第2回、来年度3月に第3回を開催したいと考えています。今後、コロナの感染状況、他諸事情により延期、中止となる場合がございます。

③計画チーム

事務局の計画チームで内容を検討させていただきます。
また、7地区のワークショップ（意見交換会）につきましては、報告会を実施させていただきたいと考えています。
報告会につきましても、状況により、来年度に持ち越す可能性があります。

【委員】

意見、質問等なし

(3) その他

【事務局】

第2回推進委員会開催の際には、通知を送付しますのでお願いします。

6、閉会